

# 雫石町コミュニティ・スクール通信

雫石町教育委員会 令和4年9月13日発行

～地域の方に学び、六次産業化を目指す～

## 雫石中学校 家庭部食堂



7月26日、28日、8月1日、3日、4日、雫石中学校家庭部は畑で作った野菜を使って調理し、学校の先生方に販売する家庭部食堂を開設しました。28日（木）は野菜天井定食【キュウリのぬか漬け、ブロッコリーとキュウリの胡麻よごし（胡麻和え）、ミニトマト、切干大根添え】を提供しました。部員たちは下ごしらえ、揚げ物、盛り付け、洗い物を分担し、加工から販売までの「連携プレー」と「手際」を鍛えるためのトレーニングの一環として行いました。調理に使用された、ナス、ピーマン、キュウリ、ミニトマトは家庭部の畑で採れたもので、キュウリのぬか漬けのぬか床も部員たちが作ったものです。生徒たちはぬか床を各自持ち帰り、それぞれの家庭の味に育てています。家庭部は、野菜作りを指導する雫石



野菜作りを教えてくださった農林課の皆さんへ 心を込めて作りました v😊v

野菜天井定食は500円、単品の天ぷら100円、キュウリの浅漬け30円です。天ぷらは揚げたて、キュウリは味が染みて冷え冷えです!!!



先生方に好評で、完売しました!

町農林課の方々や、調理、加工、販売に至るまで、地域の方たちから学びながら活動しています。自分の為、食べてくれる人の為、地域の為にといい気持ちが家庭部を応援する人たちにも伝わっていると感じました。

生産から販売までの六次産業化を目指す雫石中家庭部。今は、食品衛生上、調理加工したものを不特定多数の人に提供することは出来ないため、今年産業まつりに出店するときは、加工していない野菜を販売することになります。

野菜作り・料理・販売など、私たちが実践していることは、一生役立つ財産になります。ぬか床の世話も面白いです(^\_^)



無添加・ヘルシーな野菜天井定食

**告知**

「雫石中学校家庭部の野菜市場」(屋外テント店舗)

10月16日(日) 産業まつり2日目

9:00~13:00 (売り切れ次第閉店、お早めに!)

ジャガイモ・サツマイモ・ネギ・カボチャ・ドライフラワーアレンジ

**格安販売!**

赤い羽根共同募金付き商品、売上金の一部は町に役立てるために寄付します

# 御明神小 地域学校協働活動に向けての取り組み

## 地域学校協働活動に向けての事前学習

7月20日(水) 御明神小学校6年生16名は総合の学習で「橋場・御明神を盛り上げるために、自分たちでできること」を考える授業を行いました。この日は、校長先生が授業を行いました。



子どもたちは、自分たちの橋場・御明神地域の自慢できるものについて考え、「雫石あねっこ、自然、ネージュ(パン屋)、御明神夏祭り」など、思い思いの意見が出ました。次に、班ごとに分かれ「どこを盛り上げていきたいか」話し合いました。出し合った意見から、班としての意見を決め、選んだ理由と一緒にクラスで発表しました。

## 道の駅雫石あねっこ訪問

## ～橋場・御明神地区を盛り上げたい～

8月25日(木)、御明神小学校6年生16人が、道の駅「雫石あねっこ」を訪問し、産直や温泉施設、蕎麦屋、キャンプ場を見学しました。その後、道の駅を活用して地域を盛り上げる為、道の駅の職員からお話を聞きました。子ども達は佐々木大(ゆたか) 駅長に道の駅の利用状況や、産直で売られている商品についてたくさん質問しました。今後、児童は調べたことを基に、アイデア作りに取り組みます。並行して、地域の大人たちも「道の駅コラボチーム」を作り、アイデアを考えます。子どもと大人が出したアイデアが御明神小学校学校運営協議会で承認

を受けた後、道の駅雫石あねっこ協議し、実践活動を行う予定です。どんなアイデアが出るのか楽しみですね。

売店で人気なのはどんな商品ですか

「雫石」と地名の入った土産物がよく売れます



## 地域とコミュニティ・スクール(CS)との連携・協働に向けての一步

御明神小学校 CS と地域との連携・協働を模索するため、中崎光則校長と下川恵司社会教育指導員は8月31日(水)、御明神地区地域運営組織設立準備委員会に参加しました。

持続可能な地域社会づくりを目指す「特定非営利活動法人都岐沙羅(つきさら) パートナーズセンター」の齋藤アドバイザーからは、今後の座談会の視点としてCSや生活支援協議団体との協働が大事であることが話されました。中崎校長は9月10日(土)に開催される「御明神みらいづくり座談会」にも参加予定です。



地域で子どもたちを育むコミュニティ・スクールの推進は、地域づくりにも役立つものと感じました。